



**2023 KOSEN 水素フォーラム**

**オプション見学会**  
11/2 (木)  
9:00 (会場発) ~

『国内初、地熱グリーン水素製造プラント』見学会  
玖珠郡九重町 大林組  
(トヨタ水素エンジンカローラ、ヤンマー船へ供給)




地熱発電とその発電電力を利用してグリーン水素を製造する実証プラントが竣工し、開所式を執り行うとともにヤンマーパワーテクノロジー株式会社の実証試験用燃料として出荷しました。



写真提供 (ヤンマーパワーテクノロジー株式会社)

同社が、トヨタ自動車製 MIRAI 用燃料電池ユニットなどを組み合わせて開発している船舶用燃料電池システムを搭載した実証試験艇の燃料として供給。

●その他主な供給先は HP をご覧ください  
[https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20210718\\_1.html](https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20210718_1.html)

## 『地熱グリーン水素製造プラント』

株式会社大林組 (本社：東京都港区、社長：蓮輪賢治) は、大分県玖珠郡九重町において、地熱発電およびその発電電力を利用してグリーン水素を製造する実証プラントを建設し、出荷を開始しました。地熱発電電力を活用したグリーン水素を、複数の需要先へ供給するまでの一連のプロセスを実証する日本初の試みです。

2050 年のカーボンニュートラルによる脱炭素社会を実現するにあたり、利用段階で CO2 が排出されない水素は次世代エネルギーとして期待されています。特にグリーン水素は製造過程でも炭素を発生させず、再生可能エネルギーへの転換を加速させる相乗効果も見込まれています。

大林組では、2014 年から水素の可能性に着目し、将来の水素社会において建設業で培った技術やマネジメント力を活かすため、神戸ポートアイランドにおける「水素コジェネレーションシステム」の実証実験や、ニュージーランドにおいて同国内で初となるメガワット級の地熱発電由来のグリーン水素製造・供給施設の稼働など、さまざまな取り組みを実施してきました。



### ■地熱発電電力を活用したグリーン水素製造実証プラント

地熱発電能力：125kW  
(家庭用消費電力約 150 世帯分)  
グリーン水素製造量：10Nm<sup>3</sup>/h (※)  
(FCV30 ~ 40 台分/月)  
※発電電力のうち 50 ~ 60KW の使用を想定



## フォーラム+見学会 参加申込フォーム

下記QRコードまたはURLから参加申込フォームにご記入いただきお申込みください。(申込期限：令和5年10月10日)

【QRコード】 【URL】



<https://forms.office.com/r/vpzVRtmCcM>



定員 70 名 (先着により申込を受け付けますので、申込人数が超過した場合は、参加をお断りさせていただきます。)

※ご記入いただいた内容は、フォーラム開催業務に必要な範囲に限定して使用させていただきます。

## お問い合わせ先

大分工業高等専門学校 総務課  
TEL 097-552-6138  
〒870-0152 大分県大分市牧 1666



佐世保工業高等専門学校  
〒857-1193 佐世保市沖新町 1-1



詳しくは各高専ホームページをご覧ください  
<https://www.sasebo.ac.jp/> <https://www.oita-ct.ac.jp/>